

としよだより

2023年が始まったと思ったら、もう2月ですね。2月3日はきせつの変わり目となるせつ分です。まだまだ寒いのですが、こよみの上では、よく日4日から春となります。

あたたかい春が、早く来ることをねがって、今回はせつ分の本をごしょうかいします。



せつ分に おすすめの本



2月3日のせつ分の夜には、このすきについて鬼がねり歩くともいわれます。

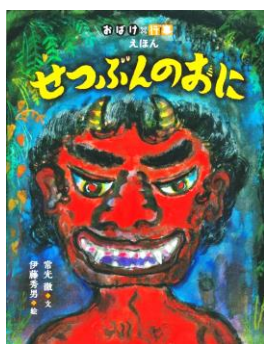
そこで豆をまいて、鬼やわるいものをおいはらったことにします。

「日本の心を伝える年中行事事典」より

大人気だった「鬼滅の刃」にも、鬼が出てきましたね。

「せつぶんのおに」

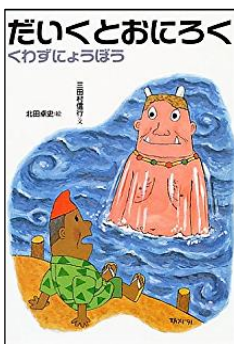
作：常光 徹 絵：伊藤 秀男



せつ分に「鬼は外、福は内」のかけ声をするようになったお話

「だいくとおにろく」

文：三田村 信行 絵：北田 卓史



むずかしい橋をかけるようたのまれた大工。鬼に目玉と交かんで橋をかけると言われ…

「ふくはうち」

文：中川 ひろたか 絵：長谷川 義史



まめまきしたから春がやってくると思ったらつぎつぎにやってくるのは…?

せつ分の詩

色いろなしの本をよんでみよう!



(季節の詩の絵本 ちらちらゆきよ)

おとうさん
にげるやくめを かつこよく
ぶじにはたして 帰ってきてね

せつぶんの日 おにの子は
朝から きがきじやないのです
だって きょうは
おとうさんの
年にいちどの しごとの日

おとうさん
まめに あたって
やけどなんかしないね
ひいらぎのえだで
目を さしたりしないでね
すべって ころんで
角を おったりしないでね
あわてて かなぼう
わすれてきたりしないでね

おにの子のうた

とみなが かよこ
富永佳代子

